

Rotary



The Hitoyoshi Rotary

人吉ロータリークラブ

通 算 3 2 3 2

2025年2月21日

第 2 6 回 例 会

The Magic of Rotary

ロータリーのマジック

2024～2025年度 R I 会長
ステファニー A. アーチック

人吉市九日町30・清流山水花 あゆの里 ☎ 2171

例会場

事務局

清流山水花 あゆの里内 ☎ 6665 ☎ 6505

人吉ロータリークラブ
ホームページ

f フェイスブックページ

[E-mail]

hitoyoshi-rc@mocha.ocn.ne.jp

2024～2025年度 人吉ロータリークラブテーマ

もっと、ロータリーを楽しもう

本日の例会

国歌斉唱・Rソング斉唱

会長の時間

幹事報告

出席率報告、会務報告、ゴルフ表彰

Rの友紹介

I M報告

R財団卓話

寄付カード

したのをきっかけに徐々に広がったようです。1970年代になるとバレンタインのお返しとして3月14日のホワイトデーが制定、これにより日本独自のチョコレート文化が発展したようで、まんまと菓子メーカーに踊らされたみたいです。日本人はお寺や神社には手を合わせるのですが、教会に行くのはクリスチャン以外あまり馴染みがないと思います。クリスマスやハロウィンで大騒ぎして楽しんでいるのは一体どういうことかと考えますが、世界中の人が日本人みたいに他宗教の祭りを楽しめば宗教上の争いがなくなるかもしれないと思うところです。

さて、先々週は熊本第6グループIMへ18名のメンバーで行って参りました。当初葉山会員のバスで行く予定でしたが、タイヤ規制が出ているとのことで念のため私の車と新堀会員の4駆2台に分乗していただきました。新堀会員には急なお願いに対処していただきありがとうございました。IM全体会では水俣ダイビングサービス シーホース代表森下氏による「再生のシンボル・ヒメタツ」の演題で記念講演がありました。水俣の海が綺麗であることを知り、水俣の豊かな海を世界中に知ってもらうために何時間と潜って動画を撮影し日々配信されている森下さんには頭の下がる思いでした。その後の懇親会では、水俣ロータリークラブの趣向を凝らした出し物等があり大変楽しく過ごさせていただきました。

帰りの車の中で本田 節ガバナー補佐エレクトが早速来年のIMの構想を考えられていましたので皆様楽しみにしててください。そしてご協力をお願いいたします。会長の時間を終わります。

幹事報告

幹事代理 加登住 亮

○2045-25年度 RYLA (青少年指導者養成プログラム)

セミナー開催案内

日時: 5/23(金)～25(日)

場所: 天草市御所浦交流センター

登録費: ロータリアン20,000円 (宿泊・食費含む)

テーマ: 離島～生きる力～「自分の未来を考えよう」

点 鐘

岩井和彦 会長

歌 唱

ソングリーダー 中島博之 委員

国 歌	「君が代」
R S	「奉仕の理想」

司会・進行

プログラム 春木 颯 委員長

会長の時間

会長 岩井和彦

皆さんこんにちは。先週14日、例会休みの日はバレンタインデーでした。昔に比べ盛り上がり騒ぐこともなくなった気がします。女性会員はチョコを用意された方、男性会員はたくさんもらった方もいらっしやったのではないかと思います。

バレンタインデーとは欧米のキリスト教圏の祝日で家族や親しい友人恋人と過ごし祝う日なのですが、日本のバレンタインデーは独自のものらしく1932年に神戸の菓子メーカーモロゾフ製菓の創始者が欧米で愛する人に贈り物をするという習慣を知り、チョコレートを送って愛を伝えることを仕掛けたのですが反響は限られたようでした。1956年に不二家が愛する人にハート型のお菓子やチョコレートを送ることを提案

・受講生はローターアクトに限らず20歳～30歳程度の青少年となっています。皆さんの会社の若手社員やご子息など次世代を担う若者の紹介をよろしくお願いします。

○第9回日台親善会議札幌大会の案内

日時：5月31日(土)
会場：グランドメルキュール札幌大通公園

○田中賢治チェロ名曲コンサートの案内(再)

日時：3月1日19時
場所：カルチャーパレス小ホール
・チケット(1000円)ご希望の方は事務局まで

○今後の例会について

- ・2/28 RI創立記念例会、ロータリー情報卓話
- ・3/7 通常例会
- ・3/14 通常例会

出席率報告

委員長 吉野孝司

現 会 員 数	52名	出席免除会員数	0名
出席義務会員数	52名	本日の出席率 69.23%	
欠 席 者 数	16名		
出 席 者 数	36名		
免除会員出席数	0名		

会務報告

【ゴルフ愛好会】 運営委員長 竹長一幸

○岩井会長杯 第8戦

2月9日(日) 球磨カントリー倶楽部

優勝 水野虎彦 会員

ワンオンチャレンジは 3,320円でした。

【雑誌委員会】

ロータリーの友2月号紹介

委員 葉山稔洋

ロータリーの友の紹介をさせていただきます。

まず横組みからですが、5ページRI会長メッセージの希望と変化の波及と言うところで、2024年にウガンダにあるマケレレ大学のロータリー平和フェローになったンタング・ジュリアス・メレングさんの感動的な行いを語っておられます。彼は社会を変えていこうと旗振りカメルーンの若者が平和構築とリーダーシップにおいて積極的な役割を果たせるように支援しました。とあります。是非このページをよく読んで頂きたいと思います。「平和構築と紛争予防月間」P8～17までは、差別、闘い、そして未来への夢と題しジョージ武井さんが真珠湾攻撃/米大統領令/在留邦人・日系人強制収容の事日系アメリカ人としての苦労と苦悩が書いてあります。

次に19ページから始まります。ロータリー研究会リポートのところで、RI理事の水野さん、基調講演1で「ロータリーは人の生き方を変え、地域社会を良くします。1人ではできないことも協力すれば大きな成果

を得られます」と語っております。インパクトの拡大基盤の広げ方会員の参加促進柔軟性の向上のように「ロータリーのマジックは私たち自身の手で生み出されます。奉仕活動を通じて、人々の人生を変え、地域社会を改善し、自分自身も成長、それがロータリーの真の価値。そのような私たちのストーリーを語り、手を取り合って持続可能な変化を生み出しましょう」と綴っておられます。そして21ページの基調講演Ⅱでは、RI財団管理委員長マークディーマロニーさんが、目標達成に向け地区リーダーには、5つのマジックの実践が求められていると言っております。第一に個人の寄付、第二自動定期寄付、第3にポリオクラスへの支援体制の強化、第4にポール、ハリスソサエティー会員を増やそう第5に地区の恒久基金を支えるレガシーイベントを開催し、さらなる寄付の拡大を目指しましょうと言っています。

P24、第3セッションでは、第一地域でロータリー公共イメージコーディネーターの寺島さんのもとに2720会長であります。三村彰吾ガバナナーが登壇されておりました。これを読んでおりましたので、IMの時にご挨拶の中でお話をさせて頂きました。P25第4セッションでは、コロナの時に大活躍をされました。尾身さんがポリオ根絶への道、これまで、これからと題して講演があったと言うことを綴っております。我々の地区大会でも尾身さんの話が聞けますので皆さん楽しみに参加下さい。

30ページのエンドポリオのところには、お隣の大口ローターアクトクラブが「伊佐に光プロジェクト2024」チャリティー募金活動を行い、ポリオ根絶への関心を高めると共に地域住民とのつながりを深める機会となったそうです。

次にP32、「嵐を越えてサンパウロ」、サンパウロの国際大会に参加するのに30時間をかけ乗り継ぎを繰り返したとありました。これを読み次元は違いますが昨年の3月私と尚ちゃんも熊本空港から東京へそして富山空港のはずが何故か小松空港におり、レンタカーで能登を目指した事を思い出しました。中川先輩と渡辺両バスト会長も陸路で大変お疲れ様でした。一番大変だったのは、5日間奉仕作業に明け暮れた節さんだった事は、周知の事実です。

36ページからは米山記念奨学会のことが記載されております。1952年に米山基金構想が始まり、54年に初めて奨学生をタイから招へいし、現在では毎年900人規模で奨学金を支給し、日本と世界の架け橋に貢献していることを綴っております。ぜひお読みください。42ページには災害の疑似体験を防災へ繋げると言うところで、別府ロータリークラブがVRゴーグルを用いた地震や津波土砂災害などを体感するVR体験を境川小学校にて行う開催しました。別府市所有の地震体験車っていうのがあるそうで、「ユレルダー」を準備し震度6弱の揺れを体験したと言う文面がありました。46Pからは各地の地区大会の略法が載っております。

56Pを見ていただきますと、表の1番左側青い部分、薄いグリーン、そしてピンク日本を3つの布に分けてあります。会員数の上限を見てみると、2720地区では▲24名第3地区では増えているところは2660地区の大阪北部、それと2700地区の福岡、長崎、佐賀の2地域だけで第一地域が頑張られているのがわかります。

次に横組みのページの紹介をさせていただきます。

言葉を守るテレビ、ディレクターの考える戦争と題して2710地区グループさんのIMで講演をされております。渡辺隆(ko)さん、NHK出身でメディアは抑止力の1つでありたいと言うふうに語っております。渡辺さんは近年戦争に関するドキュメンタリーを軸に番組を作り、1つは戦時にオピニオンリーダーだった。知識人はどのように戦争と関わり、彼らは戦争をどう受け止めていたのかを問いただす番組、次に戦争と私たちメディアの関係を考える番組3番目に戦争によって苦しい立場に追い込まれていった方々を追うと言う観点から番組を作っておられるようです。最後に戦争の発生原因は何か特別なことではなく、私たち誰もが心の中に持っている何者かが戦争に結びついてしまうのではないかと語っておられます。

そして、横組み9Pのこの人を訪ねてでは、久留米中央ロータリークラブ曾文顕(ソウ・ブンケン)さんが、台湾から裸一貫で来日して37年と言う見出しで紹介されております。曾さんは、2012年に入会し、23年の会長の時に久留米中央みらいロータリー衛生クラブの創立と台湾高雄文山RCと姉妹提携を結び現在活躍されていることが記してあります。

14Pからは俳句・短歌・川柳が載っておりますが、特に目を引くものはなく北パスト会長の1句を披露いたします。

16Pからは友愛の広場で願いは1つ世界平和と題し、新居浜の永田会員が投稿されております。下段に5000メートル以上はあらゆるものを想像する地球誕生の世界、無限の可能性を秘めた、私のこれからの生活を示唆してくれていますと書いてありますが、この方は80歳でございましてびっくり仰天でございます。以上ロータリーの友の紹介を終わります。

【IM報告】

国際ロータリー第2720地区 2024-2025年度
熊本第6グループインターシティミーティング

日時；令和7年2月8日(土)

全体会15時～ 懇親会17時30分～

場所；湯の児 海と夕やけ 水俣市

小川孝博会員

水俣で開催されたIMの報告と言いますか、感想をお伝えしたいと思います。IMも良かったのですが、1番自分的に良かったと思ったことですが、行き帰りの車内で皆さんとロータリーについて話が出来たことでした。行きは北さん、新堀さんと一緒に昨年、一昨年のIMの内容やロータリーの大会のことを色々と教えて頂きました。

帰りは中島さん、岩井会長、本田さんと一緒に来年のIMは人吉での開催、本田さんがガバナー補佐になるとのことで、大会についての想いや、人吉らしいおもてなしについての話もお伺いできました。

初めて対外的な事業への参加ということで緊張し、どんな感じだろうと思っておりましたが、終始穏やかで、これがロータリーの雰囲気なのかと感ずることが出来ました。内容ですが、水俣の海の神秘的な瞬間や美しい景色を映像で見ることができ感動しました。

懇親会では、急遽ステージに登壇させられゴムぱっ

ちんゲームに参加し、非常に痛い思いをしました。来年は水俣の平松幹事には倍返ししたいと思います。まとまりのない話でしたが、皆様ご清聴ありがとうございました。

大山善生会員

初めてIMに参加させていただきましたが、講演会も大変素晴らしく、水俣の海の素晴らしさを感じた次第でした。懇親会も楽しく過ごさせていただきましたが、水俣のメンバーの数名の方と以前から好意にいただいている事もあり、宿泊をして二次会にも参加を致しました。そこでも様々に意見交換をした事でロータリーについて学ぶことが出来、更に懇親を深める事となりました。

また、三村ガバナーと席をご一緒させていただき、ガバナーをお務めになる事への大変さや役を引き受けられるまでの準備などお聞きする事が出来ました。印象的だったのが、ご自身の事業所は歯科医院をされており、ドクターが7名おられ、ご自身が抜かれるサポートにスタッフの方々へご理解をお願いされたそうです。この事はこれまでのガバナーをお務めになられた方はなされた事とも思われますが、驚いたのは所属されている熊本りんどうクラブのメンバー一人一人をお訪ねになって全ての方にご理解をお願いされたとの事でした。これは、簡単に真似のできない事で大役を受けられる方の覚悟は素晴らしいと大変感銘を受けた次第でした。

IMに参加させていただき、多くの学びと懇親を深める事が出来た事に感謝致します。

【R財団委員会】

ロータリー財団卓話

委員 中川貴夫

皆様こんにちは。 本日は1月25日ホルトホール大分で行われた補助金管理セミナーについてお話します。人吉RCは皆さんで毎年チャレンジカップをやっていますが、この補助金管理セミナーにクラブより最低1人以上出席しないと補助金の受給資格を失います。ですのでクラブで最初にやるべきことは、セミナーに参加して「MOU」という覚書書もらい、実施年度の会長と会長エレクトの署名を入れて地区へ提出することになります。

続いて、補助金管理セミナー資料の中から、ポリオについてお話したいと思います。

ポリオとは・ポリオプラスとは(P22～23)

ポリオ(急性灰白髄炎)は非常に感染性の高い病気であり、特に感染しやすいのは未成熟の子どもである。日本では一般に「小児まひ」と呼ばれることもあります。

ポリオウイルスは人から人へ感染し、最も多いのは汚染水を通じた経口感染で、神経系を侵すこともあり、これによって身体の麻痺を引き起こす可能性があります。ときには死に至ることもあります。治療法はないが、ワクチンで予防が可能です。

ロータリーとそのパートナー団体は、これまで世界中25億人以上の子どもにワクチンを投与する活動を行ってきました。



ロータリーは1985年にポリオプラス・プログラムを設けましたが、当時はポリオと共にしか・結核・ジフテリア・百日咳・破傷風の5つをプラスして、同時追放を目的としていたため、ポリオプラスと呼んでいた。現在では、世界的なポリオ根絶運動がもたらした、感染症との闘いを支えていくインフラと協力態勢という遺産を意味しています。

ポリオ担当チームが新型コロナウイルスへの対応を支援
執筆: Global Polio Eradication Initiative (3月13, 2020)
(パキスタンの例)

★ 同国のポリオ根絶チームは政府と協力しながら、6260人以上の保健従事者が研修を受け、通常のポリオ監視に加えて新型コロナウイルスの監視も行っている

★ 政府とポリオ根絶チームは、ポリオ地域研究所でも、高まる需要に応じて新型コロナウイルス検査の技術的サポートが行われている。

Polio staff conduct COVID-19 awareness training in Gadsap, Pakistan. ©WHO Pakistan

ポリオとの戦い (P24)

GPEI (世界ポリオ根絶計画)
Global Polio Eradication Initiative

1988年 → ● 世界保健機関 (WHO)
● 国連児童基金 (UNICEF)
● アメリカ疾病対策センター (CDC)
● 国際ロータリー が共同で立ち上げた。

2009年 → ● ビル&メリンダ・ゲイツ財団 加入

2019年 → ● GAVI (ギャビ) 加入

★ 2000年までのポリオ根絶を目標として、どこにも対する定期的なワクチン接種。
(2000年) 西太平洋地域 (2002年) ヨーロッパ → **ポリオ根絶宣言**
(2014年10月) パキスタン、アフガニスタン、ナイジェリアの3か国にまで減少した。

ポリオの現状 (P24)

【野生型によるポリオ発症数】
掲載サイト: GPEIウェブサイト (英語)

ポリオ	国	2016	2019	2020	2021	2022	2023
発生国	パキスタン	12	147	64	1	20	6
	アフガニスタン	21	29	56	4	2	6
発生国	モザンビーク	0	0	0	0	8	0
	マラウイ	0	0	0	1	0	0
世界合計		33	176	140	6	30	12

2024年1月1日～11月25日

発生国	2023	2022	2021
パキスタン	55	6	20
アフガニスタン	23	6	2
モザンビーク	0	0	8
マラウイ	0	0	0
世界合計	78	12	30

※ 2023年10月25日現在。野生型ポリオウイルスの感染が確認される。 (出典: ロータリー財団ウェブサイト)

継続した支援の必要性

ポリオを根絶するには、野生型ウイルスによる発症が起きている2か国(アフガニスタン、パキスタン)でウイルスの感染を断ち切らなければなりません。

さらに、既に「ポリオフリー」となった国にウイルスが流入しないようにする必要があります。

ウイルス流入のリスクが高い国々(最高60か国)では、現在も子どもへの大規模な一斉予防接種キャンペーンが行われています。

すべての子どもがポリオにおびえずに暮らせる日が来るまで、活動をやめるわけにはいきません。(引き続き予防が必要)

ポリオプラス・ソサエティについて (P40)

ご存じの通り国際ロータリーの最優先事項は「ポリオの根絶」です。GPEI (世界ポリオ根絶推進活動) では、2026年を根絶目標年としており、根絶までもう少しというところまでまいりました。

然しながら、自然災害、政治紛争などの厳しい状況下で根絶資金の確保は今まで以上に大切になっております。このほど、各地区にて主導していただくPolioPlus Society (ポリオプラス・ソサエティ: PPS) というプログラムのご紹介とご参加のお願いをしたいと思います。

➢ ポリオプラス・ソサエティ (PPS) とは

このプログラムは、あと少しとなったポリオ根絶までの活動資金の安定と増加にご協力いただくため、地区単位でポリオ根絶まで毎年100米ドルを「ポリオプラス」にご寄付いただくロータリー会員の参加・登録を進めていただくものです。

ポリオプラス・ソサエティの始まりは2016年にさかのぼります。第5110地区(アメリカ、オレゴン州)の当時のデル・グレイ地区ガバナーとバンド・ハイ・デザートロータリークラブのハリエット・シェアー氏の考案によるものでした。第5110地区がこのプログラムを始めると間もなく他の地区でもPPSプログラムの導入を始めました。その後、第27ゾーン、第26ゾーンの地区へと導入が広がり、その後、世界の各地区での活動に広がっています。

皆様のご協力をよろしくお願いします。

ロータリー、ガザでのポリオ対応に資金援助
執筆: Rotary International
9月6, 2024

最近、ガザで環境サンプルから変異型ポリオウイルス2型が検出され、10カ月の子どものポリオ感染が確認されたことは、ポリオが世界のどこかに存在する限り、全世界の脅威であることを明確に示しています。

ガザで起きている危機は、定期予防接種率の低下およびワクチンで予防可能な疾病(ポリオもその一つ)のリスク増加の一因となっています。また、ポリオのサーベイランス(監視)と予防接種キャンペーンの完全実施にも大きな課題をもたらしています。

特に現在の状況が公衆衛生サービスに与える影響を考えると、このポリオ株がガザ内および国際的に広がるリスクが高いと世界保健機関 (WHO) は考えています。

戦間の人道的一時休止により、9月1日にガザで2回にわたるポリオ予防接種キャンペーンが開始されました。最初の報告によると、キャンペーンは順調に開始され、地元住民も高いレベルの参加を示しています。

ロータリーは、このイニシアチブの支援のために50万米ドルを約束し、専用のポリオ対応基金を通じてこの資金を提供しています。この寄付は、世界的なポリオ根絶活動におけるWHOへのロータリーの継続的な支援を表しています。

ロータリーは、世界ポリオ根絶推進活動 (GPEI) のパートナー団体やその他の機関とともに、予防接種の取り組みを継続していきます。

ポリオプラス基金へのご寄付は、ロータリーとGPEIのパートナー団体が、いかなる子どももポリオによるまひに苦しむことのない世界を実現するために活用されます。

【寄付カード】

(ニコニコ箱)

- ・岩井会長 本日は多くの方に卓話いただきありがとうございました。
- ・水野会員 小川会員が、地域雑誌「どうぎゃん」の有地さんに私の事を密告したため、このたび「どうぎゃん」デビュー致しました。小川会員ありがとうございました。因みに大久保会員は取材拒否された様です。
- ・北会員 ゴルフ表彰、ニアピン、ベスグロありがとうございました。
- ・葉山会員 お陰で久々に友をゆっくり隅から隅まで読むことが出来ました。3,000 \$ 目指して頑張りましょう。

(R財団)

- ・葉山会員 財団セミナーの卓話お世話様です。去年財団セミナーを受講したことを思い出しました。
- ・有馬会員 先日、人吉新聞に人吉西小への寄付を記事として載せて頂きました。石蔵尚之パスト会長に感謝申し上げます。
- ・中川会員 本日は、ロータリー財団卓話をお聞き戴きありがとうございました。葉山R財団委員長年度に1,000 \$ に達するように頑張ります。

(米山記念奨学)

- ・葉山会員 小川君ヒメタツの話ありがとう。
- ・有馬会員 R財団と同文

(人吉RC奨学基金)

- ・葉山会員 大山君、未来のガバナーとしていい経験でしたね。
- ・有馬会員 R財団と同文

点 鐘 岩井和彦 会長